

韓国語・朝鮮語対照日本語研究関係文献目録

宮坂 ゆかり編

凡 例

韓国語・朝鮮語との対照的日本語研究を中心に、これと関連するものを以下に記すような要領で収録した。

1. 収録範囲

1950年から1993年までに刊行された図書・雑誌を対象に、日本語文の文献を主として、韓国語文・朝鮮語文の文献も収録するように努めた。

2. 出典資料

文献の収録には、主に下記の書誌を参考にした。

『国語年鑑』国立国語研究所 秀英出版 1954～1994

『全国短期大学紀要論文索引』図書館科学会 埼玉福祉会 1950～1993

3. 構 成

『国語年鑑』を参考に、国語一般、国語史、音声・音韻、文字・表記、文法、文章・文体、コミュニケーション、日本語教育、言語学、辞典・用語集の順に配列した。

各項目とも、図書・論文に大別し、それぞれのなかは、刊行年順に配列した。

4. 記載形式

おおむね下記の形式によっている。

* 図書の場合

□□□□ 『□□□□□□□□□□□□□□□□』

（著者名） （書 名）

□□□□□

（発行所）

□□・□

（刊年・月）

* 論文の場合

□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□

（筆者名） （論 文 名）

□□□□ □□

（誌名）（刊号）

□□・□

（刊年・月）

※遺漏、お気づきの点などご連絡いただければ、幸いです。

（みやさか ゆかり／国文科研究生）

○国語一般

〈図書〉

- | | | |
|------------------------------|---|----------|
| 村山七郎 | 『日本語の研究方法』 | |
| | 弘文堂 | 1974. 10 |
| 長田夏樹 | 『邪馬台国の言語』 | |
| | 学生社 | 1979. 3 |
| 金 思華 | 『記紀万葉の日本語』 | |
| | 六興出版 | 1979. 8 |
| 河野六郎 | 『河野六郎著作集 1 朝鮮語学論文集』 | |
| | 平凡社 | 1979. 10 |
| R・A・ミラー | 『日本語の起源』 | |
| 村山七郎、下内祐、山本啓二訳 | 筑摩書房 | 1982. 6 |
| 金 恵京 | 『翻訳の世界 10-11』 | 1985. 11 |
| 黄胤周教授 河聖基教授 華甲記念論文
刊行委員会編 | 『黄胤周教授 河聖基教授 華甲記念論文集』
「韓国人における日本語の言いあやまり研究
おもに母音、長母音、母音の無声化について（柳京子）」
「現代韓国語・日本語動詞の非過去テンス形式の意味・用法について」 | |
| | 非売 | 1992. 10 |

〈論文〉

- | | | |
|----------|--|----------|
| 京都大学国文学会 | 捷解新語第一～第十（複製） | |
| | 京都大学国文学会 | 1958. 7 |
| 一色 豪 | 古典と朝鮮語 | |
| | 愛媛国文研究 14 | 1964. 12 |
| 河野六郎 | 「特集・日本語の開国」古代の日本語と朝鮮語 | |
| | ことばの宇宙 2-4 | 1967. 4 |
| 安田尚道 | 朝鮮語と日本語の母音調和と両国語の母音の対応について
——（発表要旨） | |
| | 国語学 88 | 1972. 3 |

穴居人	「文化ジャーナルことば」 朝鮮語への認識にズレ 切り離せぬ日朝の言語的關係 朝日ジャーナル	1973. 8
季基文、大野晋	「対談」韓国語と日本語の分岐点 すばる15	1974. 3
朴 燦鎬	「読者の原稿発表」 私にとっての「日本語」日本語と朝鮮語のあいだ 朝日ジャーナル	1976. 8
小田 実	主題・非国語としての日本語 —民族と言葉—朝鮮語、大阪言語、そしてテニアン日本語— 思想の科学87	1978. 3
服部四郎	アルタイ諸言語・朝鮮語・日本語の母音調和 言語7-4	1978. 4
権 寧	特集・自前の思想と手製の言葉—型すかしコラージュ 日本語、朝鮮語 早稲田文学8-23	1978. 4
李 基文	アルタイ諸語と韓国語 その比較研究についての小見 京都産業大学国際言語科学研究所所報1-3	1980. 6
金 思煒	特集—日本語 朝鮮語と日本語 ユリイカ13-2	1981. 2
高崎宗司	「ことばの小径」金大中氏問題と朝鮮語学習 朝日ジャーナル23-26	1981. 6
渥美 功	万葉語と古代朝鮮語 名古屋音大紀要	1981. 7
増田純男	「ことばのジャーナル」テレビ朝鮮語講座のゆくえ 言語10-11	1981. 11
安田尚道	韓国語・日本語同系論と母音調和 韓国文化4-12	1982. 12
梅田博之	総特集・日本語の伝統と現在を考える 朝鮮語と日本語 ユリイカ増16-12	1984. 11

- 林雅彦、宋敏 「海外からの便り」ソウルだより
- 黄 聖圭 韓国の日語日文研究報告(1)～(3) 1987. 10
国文学解釈と鑑賞 52-10、11、13 11. 12
- 酒井恵美子 (支持) 動作の認識・語彙構造の比較 中国語・日本語・朝鮮語
『論集ことば』東京都立大学人文学部国文研究室 1988. 7
- 黄 美玉 日韓両国における程度の形式副詞
『論集ことば』東京都立大学人文学部国文研究室 1988. 7

○国語史

〈図書〉

- 大野 晋 『日本古代語と朝鮮語』
毎日新聞社 1975. 8
- 大江孝男 『岩波講座日本語 12 日本語の系統と歴史』
岩波書店 1978. 1
- 大野晋編 『日本語の系統』
至文堂 1980. 6
- 安田 章 『朝鮮資料と中世国語』
笠間書院 1980. 7
- 浜田 敦 『続朝鮮資料による日本語研究』
臨川書店 1983. 8
- 森田 武 『室町時代語論攷』
三省堂 1985. 5
- 李 男徳 『韓国語と日本語の起源』
学生社 1988. 6
- 安田 章 『外国資料と中世国語』
三省堂 1990. 3
- 朴 炳植 『日本語のルーツは古代朝鮮語だった
「吏読」に秘められたヤマト言葉の起源』
(記紀・万葉を古代朝鮮語で読むための必読シリーズ1)
HBJ 出版局 1991. 2

〈論文〉

- 京都大学文学国語国文学研究室編 倭語類解—本文・国語・漢字索引
京都大学国文学会 1959. 5
- 京都大学国語国文学研究室 捷解新語文釈
京都大学国文学会 1963. 9
- 京都大学国語国文学研究室 倭語大方
京都大学国文学会 1963. 9
- 安田章、浜田敦 倭語類解考
土井洋一 国語国文 28—9 (京都大学) 1960. 9
- 浜田 敦 捷解新語とその改修本—「日本」と「看品」—
国文学攷 30 1963. 2
- 安田 章 朝鮮資料覚書—「捷解新語」の改訂—
論究日本文学 1966. 4
- 福島邦道 倭語拾補について
国語国文 36—7 1968. 7
- 京都大学国語国文学研究室編 倭語大方・交隣須知
京都大学国文学会 1969. 3
- 福島邦道 朝鮮語学習書による国語史研究
国語学 76 1969. 3
- 大友信一 〈国語学の新領域〉外国資料 (中国・朝鮮)
文字・語学 48—7 1969. 6
- 荒木雅実 「捷解新語」の並書法について
国語研究 (国学院大学) 38 1975. 3
- 岩淵悦太郎 康遇聖の捷解新語
『国語史論集』筑摩書房 1977. 10
- 安田 章 特集・外国資料による日本語研究
—朝鮮資料における表記の問題 資料論から表記論へ—
国語学 1978. 3

- 李 基文 日本祖国とその系統に関するシンポジウム
稲荷山鉄剣銘と太安万侶の基誌について 韓国漢文の立場から
京都産業大学国際言語科学研究所所報 1 - 3 1980. 6
- 金 思燁 特集・日本語－朝鮮語と日本語
ユリイカ 13 - 2 1981. 2
- 安田 章 朝鮮資料の位置
国語国文 50 - 12 1981. 12
- 漆原直道 日本語の系統について 朝鮮語との比較－試論－
佐賀女子短期大学研究紀要 16 1982. 3
- 漆原直道 日本語の系統について 朝鮮語との比較 2
佐賀女子短期大学研究紀要 17 1983. 3
- 安田 章 三学訳語の日本語
国語国文 52 - 8 1983. 8
- 福島邦道 「交隣須知」の初刊本
実戦国文学 24 1983. 10
- 李 元植 朝鮮通信使に随行した倭学訳官について
捷解新語の成立時期に関する確証を中心に
朝鮮学服 111 1984. 4
- 漆原直道 日本語の系統について 朝鮮語との比較参－助詞の対比－
佐賀女子短期大学研究紀要 20 1985. 12
- 安田 章 捷解新語の木板本
国語国文 54 - 12 1985. 12
- 片 茂鎮 「捷解類解」と「交隣須知」の相互交渉について
原「交隣須知」復元の試みから
岡大國文論稿 14 1986. 3
- 安田 章 〈資料紹介〉韓国国立図書館蔵「倭語類解」
国語国文 55 - 4 1986. 4
- 布引敏雄 「陰徳記」の日朝会話集について
文録・慶長の役における日本軍の暴虐（コピー）
山口県地方史研究 51 1984. 6

宋 敏	韓日両語の比較について 日本語古層への道 言語 16-7 別冊	1987. 6
辛 容泰	高句麗の地名に残る日本語の数詞 日本語・韓語・殷語〈古アジア語〉の脈絡が見えるその語源的解明 言語 16-7 別冊	1987. 6
金 順綿	朝鮮板「伊路波」の注音法 言語 16-8	1987. 7
李 明姫	原版「捷解新語」から「重刊改修捷解新語」への改変 国語学研究 27	1987. 12
安田 章	捷解新語改修本 国語国文 56-3	1987. 3
安田 章	捷解新語の木板木(続) 国語国文 57-12	1988. 12
志部昭平	陰徳記高句麗詞之事について 文録慶長の役における仮名書き朝鮮語資料 朝鮮学報 128	1988. 7
吉見孝夫	弘治5年朝鮮板『伊路波』の「ホ」のハングル音注 語学文学 27	1989. 3
李 康民	薩摩苗代川に伝わる「漂民対話」について 国語国文 59-9	1990. 9
奥津敬一郎、 中島悦子	『捷解新語』の条件表現(2) 非「ナラバ」初刊本・改修本・重刊本を比較して 国文目白 30	1990. 12
安田 章	規範性への接近 国語国文 60-1 (京都大学)	1991. 1
鄭 起永	「捷解新語」における諺文音注の清濁表記 湘南文学(東海大学) 25	1991. 3
奥村和子	ハ行子音の音価と表記 朝鮮資料「捷解新語」を中心に 文献探究 27 (文献探究の会)	1991. 3

- 奥津敬一郎、 『捷解新語』の条件表現(3)
中島悦子 非「ナラバ」初刊本・改修本・重刊本を比較して
日本女子大学紀要文学部40 1991. 3
- 宋 永彬 「捷解新語」における「御」の読みについて
日本語学10-4 1991. 4
- 新 裕美 「捷解新語」に於ける漢語 改修態度を中心として
(辞典・外国資料による日本語研究 大友信一博士還暦記念)
和泉書院 1991. 8
- 片 茂鎮 「文隣須知」の筆写本と刊行本の日本語について(「活用」編)
(辞典・外国資料による日本語研究 大友信一博士還暦記念)
和泉書院 1991. 8
- 辻 星児 重刊改修捷解新語に見られる区切り小点について
(辞典・外国資料による日本語研究 大友信一博士還暦記念)
和泉書院 1991. 8
- 杉戸清樹 「捷解新語」タ行オ段拗長音子音部への音注について
『日本語論究2 古典日本語と辞書』(和泉書院) 1991. 8
- 成 晴慶 「倭語類解」の刊本と写本の体裁比較
苗代写本「和語類解」の原本復元の試みから
東北大学文学部日本語学科論集1 1991. 9
- 趙 南徳 重刊本「捷解新語」の巻のグループ化の現れ方から
「ガ行音の表記法」「御(おん)」「儀」など語文研究
九州大学72 1991. 12
- 辻 星児 捷解新語の朝鮮語に見られる丁寧体終止語尾 後半部の用法を中心に
岡山大学文学部紀要18 1992. 12
- 李 康民 「方言集釈」と「倭語類解」
国語国文61-9 1992. 9
- 成 晴慶 「倭語類解」の日本漢字音とその表記方法との関連について
岡大国文論稿21 1993. 3
- 成 晴慶 「倭語類解」における日本漢字音の性格
東北大学言語学論集2 1993. 3

- 金 公七 原始韓日共通語彙研究－文献語 分析
日本学報（韓国・日本学会）30 1993. 5
- 辛 容泰 いわゆる時期による韓・日・漢言語の造語法について
日本学報（韓国・日本学会）30 1993. 5

○音声・音韻

〈図書〉

- 杉藤美代子編 『講座日本語と日本語教育3 日本語の音声・音韻下』
明治書院 1990. 6

文部省科学研究費補助金重点領域「日本」『日本語音声と教育』

- 「音声」総括班（代表杉藤美代子）編刊 「日本語音声」研究報告書8 1993. 2

〈論文〉

- 馬淵和夫 古代朝鮮語と古代日本語の音韻組織の対比について
未定稿10 1962. 6
- 青山秀夫 特集・母音調和をさぐる－朝鮮語の母音調和
言語5－6 1976. 7
- 黄 順花 韓国人のための日本語の音声指導
研究会報告5 1984. 3
- 大林直樹 日本語の朝鮮語、アルタイ諸語との比較
第1音節における朝鮮語との対応を中心に
文芸言語研究 言語15 1989. 2
- 大西晴彦 韓国人の日本語のアクセントについて
国際学友会日本語学校紀要15 1991. 9
- 近藤清兄 韓国人留学生の日本語使用における漢字音・漢字語の誤りについて
東北大学文学部日本語学科論集1 1991. 9
日本語学（明治書院）10－5 1991. 5
- 趙 南星 韓国人の日本語学習者の誤りの評価
日本語話者と韓国語話者による重み付け
日本語と日本文学（筑波大学）15 1991. 12

- 洪 娥杓 韓国人学習者の日本語の丁寧表現に見られる音律的特徴
日本語と日本文学（筑波大学）17 1992. 9

○文字・表記

〈図書〉

- 吉野政治 『漢字の復権』
日中出版 1988. 4
- 加藤彰彦 『講座日本語と日本語教育9 日本語の文字・表記下』
明治書院 1989. 12

〈論文〉

- 藤井茂利 日本漢文と朝鮮漢文 上代の表記法の関係を中心にして
湘南文学20 1986. 3
- 猿田知之 朝鮮漢字語覚書 —— 日本中世漢字語研究のために ——
茨城キリスト教短期大学研究紀要 1988. 3
- 韓 先熙 「捷解新語」原刊本の撥音について その表記を中心に
ことば10（現代日本語研究会） 1989. 12
- 李 春沢 韓国標準規格と日本工業規格の漢字について
学術情報センター紀要3 1990. 9

○語彙・用語

〈図書〉

- 川本茂雄、林大、 『日本の言語学5 語彙・意味』
国広哲弥編 大修館 1979. 1
- 大友信一 『講座日本語の語彙4 中世の語彙』
中国・朝鮮資料の語彙
明治書院 1981. 11
- 玉村文郎 『講座日本語と日本語教育7 日本語の語彙・意味 下』
明治書院 1990. 2
- 日本語語源研究会編 『語源探究2』
明治書院 1990. 7

「朝鮮語における母音交替による対義語の造語法（姜斗興）」

桜楓社

1993. 5

<論文>

安本美典

朝鮮語と『古事記』のことば

太陽 121

1973. 3

在日倭人

<文化ジャーナル> 朝鮮語軽視の苗字研究

学びたい金達寿氏の考察方法

朝日ジャーナル二・八

1974. 2. 8

深井 実

人類史上最も間違いの多い辞典

—— 天理大編「現代朝鮮語辞典」の調査報告 ——

北海道駒沢大学研究紀要 12

1977. 2

菅野裕臣

特集・外来語の研究 —— 朝鮮語からの借用語

言語 7-2

1978. 2

李 丞玉

特集・辞書とことば 朝鮮語辞典の現状

国語科通信 40

1979. 2

梅田博之

特集・辞書の世界 —— 言語学習辞典 朝鮮語の辞書

言語 9-5

1980. 5

北村まりえ

日本語の中の韓国語 身近な日本語の中の韓国語

ARTC' 84 1

1985. 3

瀬川まなつ、北村まりえ、

日本語の中の韓国語 日本語・韓国語対応表

時代評

ARTC' 84 1

1985. 3

赤瀬川まなつ

日本の子どもの遊びことばにみる韓国語

ARTC' 84 1

1985. 3

神山 晃

日本語の構造 「ᄒ」(HAL, ハル)との結合

ARTC' 84 1

1985. 3

木村 晟

ソウル大学校蔵「方言類積」の倭語彙

駒沢国文 26

1989. 2

○文法・文章・文体

〈図書〉

伊藤武彦、朴媛淑、『文の理解にはたす助詞の働き 日本語と韓国語を中心に』

田原俊司 風間書房 1993. 2

〈論文〉

張 幸誠 『表現学考 今井文夫教授古稀記念2〈10〉』

日韓近代文章返還の比較に備えての一つの資料

今井文夫教授古稀記念論集刊行委員会 1986. 4

韓 美卿 捷解新語の敬語研究

アジア・アフリカ言語文化研究所通信 5 7 1986. 8

鄭 昌鎬 移動動作の表現における「へ」と「に」の使い分けの法則

朝鮮資料「捷解新語」を中心に

岡大言語論稿 1 5 1987. 3

小野沢由紀子 日、英、朝鮮語の文章構造における比較分析 —— その1 ——

新島学園短期大学紀要 6 1989. 1

奥津敬一郎、 「捷解新語」の条件表現(1)「ナラバ」

中島悦子 初刊本・改修本・重刊本を比較して

国文目白 2 9 1989. 11

○方言

〈図書〉

鶴久教授退官記念論文集刊行会編 『鶴久教授退官記念国語学論文集』

「日本方言と韓国方言(藤井茂利)」 1993. 5

桜楓社

〈論文〉

梅田博之 朝鮮語学での方言研究の近況

方言研究年報 7 1964. 12

久倉京子 奄美方言の中の韓国語 —— 古事記から抽出して ——

奄美郷土研究会報 1 7 1977. 3

- 久倉京子 「うわなり」と「ミョヌリ」
 —— 奄美方言の親族呼称に残る韓国語 ——
 奄美郷土研究会報 1 8 1978. 1
- 久倉京子 「おもろ」の中の奄美方言 —— 韓国の語源も探究して ——
 奄美郷土研究会報 2 2 1982. 2
- 多和田真一郎 特集・琉球弧のことばと文芸 沖縄方言と朝鮮語資料
 国文学解釈と鑑賞 4 7 - 9 1982. 8
- 久倉京子 南島「かわや」考 韓国語の古語も参考にして
 奄美郷土研究会報 2 3 1983. 2

○コミュニケーション・国語教育

〈図書〉

- 森田芳夫 『韓国における国語・国史教育』
 原書房 1987

〈論文〉

- 増田純男 朝鮮語と日本人
 言語 6 - 1 0 1977. 9
- 梅田博之 特集・敬語とはなにか —— 朝鮮語の敬語
 言語 8 - 6 1979. 6
- 生越直樹 在日韓国・朝鮮人のバイリンガリズム アンケート調査の結果から
 待兼山論叢 1 6 日本文学 1982. 12
- 生越直樹 特集・日本語教育と二重言語生活 —— 在日朝鮮人の言語生活
 言語生活 1983. 4
- 奥津敬一郎、 日・朝・中・英のあいさつ言葉
- 沼田善子 日本語学 4 - 8 1985. 8
- 李 淑子 教科書に描かれた朝鮮と日本
 ほるぷ出版 1985. 1

○日本語教育

〈図書〉

- 武田 祈作成 『講座・日本語教育 15』
早大語学教育研究所 1979. 6
- 植田教材開発部編 『日本語教材（母語別）シリーズ7
日本語・朝鮮語基礎語彙表 朝鮮語・日本語基礎語彙表』
国際交流基金 1980. 3
- 『A A 諸言語教育基本語彙表 入門期の学習に必要な基礎語彙
600項目試案』
東外大アジアアフリカ言語文化研究所 1980. 3
- 第5回国際シンポジウム 『日本人と国際化』
実行委員会 ぎょうせい 1980. 3
- 江福隆秀、 『外国で日本語を教える Teaching Japanese
林伸一編 Abroad』
創拓社 1986. 7
- 国際交流基金、 『海外における日本語教育の現状と将来
国際文化フォーラム編 〈日本語国際シンポジウム報告書'88.3.14~15〉』
国際文化フォーラム 1989. 3
- 馬淵良雄、金子泰子、伊藤祥子編 『台湾・韓国 日本語教育調査報告書』
信州大学人文学部国語学研究室 1991. 1
- ### 〈論文〉
- 清水慶秀 朝鮮に於ける日本の植民地教育（Ⅲ）
国語教育政策を中心として
広島女学院短期大学論集9 1959.11
- 山田幸宏 朝鮮人の日本語音認知に於ける難易度の測定について
日本語教育3 1963.10
- 関西研修センター 一般研修の現場から —— 最終試験から何が分かるか 外来語
日本語における外来語の学習・中国語圏の場合・韓国語の場合
研修131~138 1972.1-8

鈴木敦子、 高木英明	各国語比較 —— 発音（４）研修生の母国語と日本語の比較・対照 —— 韓国語と日本語 研修 144	1973. 2
鈴木敦子、 高木英明	各国語比較 —— 文法 1「自制」（４）そのあいだ、お元気でしたか —— 韓国語と日本語の「時」のとらえ方 研修 149	1973. 7
高木英明	各国語比較文法 2「まとめ」（４）一番やさしい助詞 —— 韓国語 研修 156（関西研修センター日本語班）	1974. 2
金 鐘学	特集・初等中等教育における日本語教育 —— 韓国高校における日本語教育の展望 日本語教育 30	1976. 8
稲葉継男	韓国における日本語教育 その推移と展望 外国人と日本語 2	1977. 3
森田 進	韓国における日本語教育 四国学院短期大学：論集 43	1979. 3
金 永佑	韓国における日本語教育の現状と問題点 日本語教育 32	1977. 4
早川嘉春	韓国における日本語教育管見 日本語教育 33	1977. 7
村崎恭子	韓国における日本語学習 言語 6-10	1977. 9
加藤翹子	韓国人に対する日本語教育 日本語教育 35	1978. 9
稲葉継男	韓国の「高等学校日本語読本」について 外国人と日本語 4	1979. 3
奥津敬一郎	特集・海外の日本語教育 —— 韓国 盛況の蔭にある基本的問題 言語 8-3	1979. 3
森田 進	韓国における日本語教育 四国学院大学論集 43	1979. 3

李 賢起	韓国における日本古典教育の一例	
	外国語と日本語 5	1980. 3
梅田博之	特集・母語別教材とは何か 朝鮮語を母語とする学習者のための日本語教材作成上の問題点	
	日本語教育 4 0	1980. 3
森田芳夫	韓国人学生の日本語学習における誤用例 動詞	
	日本語教育 4 3	1981. 2
野村伸一	韓国語と日本語とのあいだに 序論	
	日本語と日本語教育 1 0	1982. 3
安田尚道	韓国語・日本語同系論と母音調和	
	韓国文化 4 - 1 2	1982. 4
生越まり子	特集・国別の問題点(4) 朝鮮語の希望表現文 日本語と対照して	
	日本語教育 4 8	1982. 10
生越直樹	特集・国別の問題点(4) 日本語漢語動詞における能動と受動朝鮮語 h a t a 動詞との対照	
	日本語教育 4 8	1982. 10
黄 聖圭	特集・国別の問題点(4) 韓国においての日本語教育	
	日本語教育 4 8	1982. 10
前田綱紀	特集・国別の問題点(4) 「……している、……してある」 の日本語朝鮮語対照	
	日本語教育 4 8	1982. 10
梅田博之	特集・国別の問題点(4) 韓国語と日本語 対照研究の問題点	
	日本語教育 4 8	1982. 10
森田芳夫	特集・国別の問題点(4) 韓国における日本語教育 —— 韓国における日本語教育の歴史	
	日本語教育 4 8	1982. 10
門脇誠一	特集・国別の問題点(4) 日本語と朝鮮語の語彙	
	日本語教育 4 8	1982. 10
李 云順	特集・国別の問題点(4) 韓国における日本語教育	
	日本語教育 4 8	1982. 10

生越直樹	特集・副詞指導の問題点 日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・ 副詞的な語句との関係 日本語副詞指導の問題点 日本語教育 5 2	1984. 2
梅田博之	韓国人に対する日本語教育と日本人に対する朝鮮語教育 日本語教育 5 5	1985. 3
石田敏子	英語・中国語・韓国語圏別日本語学力の分析 日本語教育 5 8	1986. 2
柴 公也	漢語動詞の態をいかに考えるか 韓国人学生に対して 日本語教育 5 9	1986. 7
稲葉継男	特集・日本語教育史 —— 韓国における日本語教育史 日本語教育 6 0	1986. 9
柳 京子	韓国人にみられる日本語の言いあやまり 日本語の超文節要素 (suprasegmentals) 人文科教育研究 1 3	1986. 9
金 潤喆	韓国人日本語学習者に対する漢字の読みの指導 広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 1 2	1986. 10
李 賢起	特集・国際化する日本語の座標軸 —— 韓国と日本語 その過去・現在・将来 国際交流 1 1-1	1986. 4
李 明姫	韓国におくる日本語初級課程学生の聴音能力の実態調査 国語学研究 2 6	1986. 12
稲葉継男	仁川日語学校について 旧韓末「日語学校」の一事例 文芸言語研究 言語 1 1	1987. 1
金 粉淑	韓国の大学における日本語・日本文学の教育と研究 文化 5 1-1・2	1987. 9
宋 晩翼	韓日併合の朝鮮における日本語教育 学芸国語教育研究 2	1987. 10
金 潤喆	韓国人に対する日本語教育の研究 日・韓両語における視点の相違について 広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 1 3	1987. 10

- 稲葉継男 お雇い日本人教習の研究 第2部 旧韓末朝鮮の教育と日本人
2. 旧韓末「日語学校」の日本人教師 その代表的事例
国立教育研究所紀要 115 1988. 3
- 三沢 茂 母語考 旧韓末の日本語教育史の視点から
東海大学紀要留学生教育センター 8 1988. 3
- 孫 大俊 <講演> 韓国における日本語・日本文学の教育及び研究の現状
国学院雑誌 89-4 1988. 4
- 趙 文熙 日本語教育における文学教育 韓国の大学の場合
学芸国語教育研究 3 1988. 5
- 稲葉継男 源興学校について 旧韓末「日語学校」の一事例
文芸言語研究 言語 15 1989. 2
- 稲葉継男 日語錦城学堂について 旧韓末「日語学校」の一事例
外国語教育論集 11 1989. 3
- 平田悦朗 外国語としての日本語聴解上の問題点
韓国人留学生の音節(拍)の聞き取りを中心として
お茶の水女子大学人文科学紀要 42 1989. 3
- 稲葉継男 浄土宗の旧韓国における教育活動 日本語教育を中心として
文芸言語研究 言語 16 1989. 6
- 藤井茂利 日本語教育法研究 韓国での「日常会話」の授業
福岡大学人文論叢 21-1 1989. 7
- 藤井茂利 日本語教育法研究 韓国での「日常会話」のテストから
福岡大学人文論叢 21-2 1989. 10
- 藤井茂利 日本語教育法研究 韓国での「敬語の用法」の授業
福岡大学人文論叢 21-3 1989. 11
- 金 学烈 特集・歴史の中の日本語<アジアの人々の語る占領下の教育>
韓国語に今も残る言葉 —— 韓国
CAT 7-12 1989. 10
- 尹 東賢 特集・歴史の中の日本語<アジアの人々の語る占領下の教育>
自国の言葉・歴史・地理 —— 韓国
CAT 7-12 1989. 10

- 生越まり子 特集・擬音語・擬態語 —— 日本語の擬音・擬態語教授上の問題点
朝鮮語韓国語を母語とする人々に対して
日本語教育 6 8 1989. 7
- 関 光準 韓国語話者の日本語音声における音律的特徴とその日本語話者による
評価
日本語教育 6 8 1989. 7
- 藤井茂利 日本語教育法研究 韓国での「高級会話」の授業から
福岡大学人文論叢 2 1 - 4 1990. 3
日本語教育関係団体の自己紹介 韓国-韓国日語日文学会
日本語教育通信 3 1990. 5
- 李 鳳姫 特集・上級の日本語教育
—— 上級の日本語教育 韓国人学習者の場合
日本語教育 7 1 1990. 7
- 藤井茂利 日本語教育法研究 韓国での「高級会話」のテストから
福岡大学人文論叢 2 2 - 1 1990. 8
- 金 敬愛 韓国の高校における日本語教育の現状と課題
東京外国語大学日本語学科年報 1 2 1990. 8
- 稲葉継男 旧韓末の日語学校（補遺）
文芸言語研究 言語 1 7 1990. 1
- 稲葉継男 旧韓末の私立学校における日本語教育
文芸言語研究 言語 1 8 1990. 9
- 芳賀 登 朝鮮人の日本移民と言語教育政策
朝鮮語と国語との関係を中心として 1991. 3
- 許 卿姫 韓国語話者の日本語
日本語学（明治書院）1 0 - 5 1991. 5
- 近藤清兄 韓国人留学生の日本語使用における漢字音・漢字語の誤りについて
東北大学文学部日本語学科論集 1 1991. 9
- 趙 南星 韓国人の日本語学習者の誤りの評価
日本語話者と韓国語話者による誤りの重み付け
日本語と日本文学（筑波大学）1 5 1991. 12

- 生越直樹 韓国人日本語学習者のボイスに関する誤用 漢語動詞の誤用を中心に
横浜国立大学教育学部教育実践研究指導センター紀要 8
朝鮮語教育研究 (近畿大学) 5 1992. 1
- 稲葉継男 旧韓国の日本語教育
筑波大学地域研究 10 1992. 3
- 吉田文彦 朝鮮総督府編纂による日本語教科書 (1) ~ (2)
人物, 文脈, 価値, 文体から見た内容
東海大学紀要 文学部 57 1992. 3-1
- 柳 京子 韓国人における日本語の言いあやまり研究
おもに母音, 長母音, 母音の無声化について
人文科教育研究 (人文科教育学会) 19 1992. 8
- 淡島成高 韓国出身留学生の漢字表記
麗沢大学紀要 55 1992. 12
- 関 正昭 日本語教科書の系譜 (第一期) 台湾・朝鮮・南洋諸島編,
松本亀次郎・松下大三郎・松宮弥平編を中心に
鹿児島女子大学研究紀要 14-1, 15-1 1993-3, 7

○言語学

〈図書〉

- 小倉進平、 『朝鮮語学史 増訂補注版』
河野六郎校注 刀江書院 1965. 10
- 金 思燁 『古代朝鮮語と日本語』
講談社 1974. 10
- 『格表現の対照研究 日本語教育のために』
9 日本語例文の朝鮮語役とその補足説明 (李文子)
大阪外国語大学留学生別科 1979. 3
- 鈴木孝夫、 『朝鮮語のすすめ 日本語からの視点』
渡辺吉鎔 講談社 1981. 4

- 梶木 陟(代) 『朝鮮をめぐる中国と日本 その三国間の語学・文学の相互交渉に関する総合的研究』
[昭和56年度文部省科学研究費による研究成果報告書(富山大学文学部紀要)] 1982. 3
- 森岡健二、宮地裕、寺村秀夫、 『講座日本語学10 外国語との対照1』
川端善明編 現在朝鮮語の文構造(梅田博之、村崎恭子)他
明治書院 1982. 6
- 森岡健二、宮地裕、寺村秀夫、 『講座日本語学11 外国語との対照2』
川端善明編 現在朝鮮語(梅田博之、村崎恭子)他
明治書院 1982. 10
- 森岡健二、宮地裕、寺村秀夫、 『講座日本語学12 外国語との対照3』
川端善明編 朝鮮語の指示語(梅田博之)他
明治書院 1983. 3
- 李 淑子 『教科書に描かれた朝鮮と日本 朝鮮における初等教科書の推移
1895~1979』
ほるぷ出版 1985. 1
- 金 芳漢著、村山七郎監修、 『韓国語の系統』
大林直樹訳 三一書房 1985. 11
- 岸本通夫 『日本語と朝鮮語 小沢重男教授・梅棹忠夫教授への書簡』
蜘蛛出版社 1987. 12
- 森田 芳夫 『韓国における国語・国史教育 朝鮮王朝期・日本統治期・解放後』
<明治百年史叢書>
原書房 1987. 12
- 森下喜一、 『日本語と韓国語の敬語』
池 景來 白帝社 1989. 10
- 近藤達夫編 『講座日本語と日本語教育12 言語学要説 下』
朝鮮語と日本語(菅野裕臣)
明治書院 1990. 7
- 喜徹著 『日韓同形異義漢語の研究 日韓辞典作成の基礎として』
富士ゼロックス小林節太郎記念基金編 富士ゼロックス小林節太郎記念基金 非売 1990. 11

宮岡伯人編	『北の言語 類型と歴史 Languages of the North Pacific Rim ; Types and History』	
	三省堂	1992. 6
森下喜一、 池 景來	『日・韓語対照言語学入門』	
	白帝社	1992. 8
	〈論文〉	
竹端瞭一	朝鮮語のローマ字書きについて	
	ことばの教育 8 5	1957. 1
金沢庄三郎	朝鮮語と助詞イ	
	国学院雑誌 5 8—5	1957. 9
青山秀夫	現代朝鮮語の音感的特徴	
	天理大学学報 2 5	1958. 3
小沢重男	中・韓・豪対訳語彙集「豪語類解」の研究(1) —— 朝鮮語と豪語との若干の音韻対応にもふれて ——	
	東京外国語大学論集 8	1961. 3
梅田博之	慶尚北道漆谷方言(朝鮮語)のアクセント	
	名大文学部研究論集 2 5	1961. 3
塚本勲	日本における朝鮮語教育の現状とその展望	
	当面の朝鮮に関する資料(日本・朝鮮研究所) 2	1961. 12
河野六郎	中国語の朝鮮語に及ぼした影響	
	言語生活 1 2 9	1962. 6
河野六郎、旗田巍	〈シンポジウム〉日本に朝鮮語研究について	
宮田節子	朝鮮研究月報 2 2	1963. 10
森川久次郎	中期朝鮮語の字音について	
	音声会会報 1 1 2	1963. 12
塚本勲	朝鮮語こぼれ話(1) —— 朝鮮語はむずかしいか ——	
	朝鮮研究 3 3	1964. 9. 10
梅田博之	朝鮮語のソナグラム	
	名古屋大学文学部研究論集	1965. 3

梅田博之、	朝鮮語の「濃音」の物理的性質	
梅田規子	言語研究 4 8	1965. 11
酒井改蔵	朝鮮語の観察	
	朝鮮学報 3 7—8	1966. 1
梅田博之、	韓国語の文章中の母音の分析	
金東俊	朝鮮学報 3 7・3 8	1966. 1
服部四郎、金東俊	各国語の個性と日本語 —— 朝鮮語 ——	
梅田博之（他）	単語の意味の面接調査 ——	
	ことばの宇宙 2—3 3	1967. 3
竹端瞭一	日本語の d a と朝鮮語の i t a	
	国語学研究（早稲田大学）3 5	1967. 5
芹沢功	特集アジアの言語 隣国の言語 —— 日本人と朝鮮語 ——	
	海外事情 1 5—5	1967. 5
泉井之助	中期朝鮮語の母音調和と母音交替	
	言語研究 5 2	1968. 1
柴田武	語彙体系としての親族名称 —— トルコ語・朝鮮語・日本語 ——	
	アジア・アフリカ言語文化研究 1	1968. 2
河野六郎	言葉の科学 1 2 朝鮮語の語	
	言葉の宇宙 3—3	1968. 3
服部四郎	朝鮮語のアクセント・モーラ・音節	
	言葉の宇宙 3—5	1968. 5
河野六郎	朝鮮語の母音調和（研究発表と話し合い記録）	
	都立大学方言学会会報 2 8	1968. 12
安田吉実	韓国語の接続語尾「— go (seo) ・ — a (seo) ・	
	— se (seo) 」について	
	天理大学学報 6 1	1969. 1
青山秀夫	現代朝鮮語の敬語法について	
	天理大学学報	1969. 1

青山秀夫	現代朝鮮語の敬語法と敬語意識（１）（２） 京畿道驪州における実態調査報告 朝鮮学報 51・53	1969. 5. 10
日下部文夫	三つの表記案 朝鮮語・案南語・ビルマ語の音節構造 岡山大学法文学部学術紀要 30	1970. 3
梶井渉	特集 アジア語 日本人にとって朝鮮語とは何か 国際文化 192	1970. 6
青山秀夫	現代朝鮮語の敬語法と敬語意識 京畿道驪州における実態調査報告（３） 朝鮮学報 57	1970. 10
安田吉実	朝鮮語の終止法の待遇等級区分について 口語の“h a o（h a - o）”体を中心に 天理大学学報 74	1971. 9
河野六郎	朝鮮語の膠着性について 言語学論叢 11	1971. 11
梅田博之	日本語と朝鮮語 別冊経済評論 1	1972. 9
朴用五	特集 外国語入門 —— 韓国語 海外事情 20—10	1972. 10
梅田博之	日本語と朝鮮語 朝鮮学報 69	1973. 10
浜田敦	日本語と朝鮮語 言語生活 270 ＜文化ジャーナル＞果敢な実践が問う語学教育 —— 広島電気大付属高の朝鮮語授業 朝日ジャーナル 4月5日号	1974. 3 1974. 4
油谷幸利	現代朝鮮語の敬語に関する一考案 朝鮮学報 73	1974. 10

梶井 抄	シリーズ・朝鮮語を考える（１） 日本にとっての朝鮮語（上・下） 朝鮮研究 141・142	1974. 12. 1975. 1
高木英明	各国語比較 —— 韓国語と日本語“類似と差異” 動詞・漢字語・待遇法について対照する 研修 167	1975. 1
辻星児	原刊「捷解新語」の朝鮮語について 国語国文 44—2	1975. 2
李殷直	シリーズ・朝鮮語を考える（２） 朝鮮語を奪われてきた体験 朝鮮研究 143	1975. 3
王城繁徳	意味理論と朝鮮語の意味記述について 朝鮮語と日本語の意味論における対照言語学的考察 朝鮮学報 77	1975. 10
服部四郎	母音調和と中期朝鮮語の母音体系 言語の科学 6	1975. 12
多和田真一郎	朝鮮語の敬語 都大論究 13	1976. 4
李文子	現代朝鮮語の受身表現について 日本語との対照（研究発表要旨） 言語研究 71	1977. 3
北嶋静江	<民族と言語> 日本語・外国語・朝鮮語 国語の授業 19	1977. 4
金時鐘	なぜ“朝鮮語か” 国語通信 198	1977. 7
金東俊	特集・朝鮮語入門 韓国のことわざ 言語 6—10	1977. 9
青山秀夫	特集・朝鮮語入門 朝鮮語の音声象徴 言語 6—10	1977. 9
大村益夫	特集・朝鮮語入門 日本における朝鮮語教育 言語 6—10	1977. 9

藤本幸夫	特集・朝鮮語入門 朝鮮語と漢字 言語 6—10	1977. 9
梅田博之	特集・朝鮮語入門 朝鮮語はどんな言語か 言語 6—10	1977. 9
北嶋静江	日本語朝鮮語対照言語学の展望 朝鮮学報 5	1977. 10
梶井抄	特集・特集・日本人と朝鮮語 —— 日本統治下の朝鮮語教育 朝鮮語を考える (4) 季刊三千理 11	1977. 11
梶村秀樹	特集・日本人と朝鮮語 朝鮮語で語られる世界 季刊三千理 11	1977. 11
吉野広造、志村節、土器屋泰子、 八巻さだえ、大津和子、藤本敏和、 木下麗子、西岡健治	特集・日本人と朝鮮語 —— 私にとっての朝鮮語 季刊三千理 11	1977. 11
金思弛	特集・日本人と朝鮮語 —— 朝鮮民族の文字文化 季刊三千理 11	1977. 11
金達寿	特集・日本人と朝鮮語 —— 古代日本と朝鮮語 季刊三千理 11	1977. 11
小沢有作、金達寿、 久野収、旗田巍	特集・日本人と朝鮮語 —— <座談会>まず会話から 季刊三千理 11	1977. 11
郭永哲	韓国語における日本渡来の外来語 解釈 24—9	1978. 9
前田綱紀	「nin」(は)と「ka」(が) 日本語朝鮮語対照言語学の基礎として 待兼山論叢(日本学) 12	1978. 12
田中マリ子	指示詞 朝鮮語 i・keu・jeo 系列と日本語 コ・ソ・ア系列との対照 待兼山論叢(日本学) 12	1978. 12

洪思満	日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究(2) その接続機能を中心に 朝鮮学報90	1979. 1
洪思満	日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究(1) その副詞的修飾機能を中心に 外国人と日本語4	1979. 3
奥津敬一郎	日本語の授受動詞構文 英語・朝鮮語と比較して 人文学報(東京都立大学)	1979. 3
李文子	朝鮮語の受け身と日本語の受け身(1) 「もちぬしの受け身」を中心に 朝鮮学報91	1979. 4
長田夏樹	『皇極經世書』音声図の音価『韻略易通』の音韻体系について 『鶏林類事』の朝鮮語を表す漢字音体系と関連して 神戸外大論叢30-3	1979. 8
生越直樹	他動詞の再帰性と使役の関係 日本語と韓国語の対照を通して 待兼山論叢(日本学)13	1980. 1
郭永 喆	韓国文法における辞の扱い 日本文法との関連を中心に 上智大学国文学論集13	1980. 2
金貞淑	韓国語教育に関する雑考 日本語教育と関連して 外国人と日本語5	1980. 3
辻村敏樹	捷解新語の「言う」の敬語形 日本語の敬語と韓国語の敬語 総論 国語学研究と資料5	1980. 3
鄭 秀賢	日本語と韓国語の受身表現 その対照研究 (大阪大) 語文37	1980. 9
李栄九	韓国の日本研究 過去・現在・展望 国際交流8-3	1982. 6
辻星児	「改修捷解新語」の朝鮮語について 岡山大学文学部紀要3	1982. 12

長田夏樹	日朝両国漢文訓読探源 朝鮮学報 97・100 1982
奥津敬一郎	特集・外国語との対照研究と国語・日本語教育 授受表現の対照研究 日・韓・中・英の比較 1983. 4
李漢燮	現代韓国語に入っている日本語 日本で一部または全部が訓読読みされる語を中心として (大阪大) 語文 44 1984. 2
イ・ヨンスク、 田中克彦	借用の条件 朝鮮語に入った日本語(上・下) 言語生活 389、390 1984. 5. 6
李漢燮	現代韓国語に入っている日本語 日本で一部または全部が訓読読みされる語を中心として (大阪大) 語文 44 1984. 11
李光秀	日本語「スル」動詞と韓国語「hada」動詞の対照研究 日本語と日本文学 5 1985. 11
申恵璟	韓国語の指示語 i, ku, cho と日本語の指示詞 こ、そ、あ Sophia Linguistica 18 1985 特集・日本語動詞のすべて —— 諸言語の動詞と日本語の動詞 国文学解釈と鑑賞 51—1 1986. 1
金榮順	日韓両国語の自称詞・対称詞の対称的考察 国語学 研究と資料 9 1986. 2
朴在権	現代日本語における客語指示に「二」格を取る動詞について 韓国語とな対照分析 中央大学大学院研究年報 15—4 文学研究科 1986. 3
塚本秀樹	数量詞遊離について 日本語と韓国語の対照研究 朝鮮学報 119・120 1986. 7
呉美善	韓国語における補助動詞 日本語との対照も添えて ことば(現代日本語研究会) 7 1986. 12
中島一裕、 文燕友	日韓語授受表現の対照研究 国語表現研究 3 1986. 12

- 松岡洸司 韓国日本学会に参加して
ソフィア 36—2 1987. 6
- 生越直樹 日本語の接続助詞「て」と朝鮮語の連結語尾 {a} {k o}
日本語教育 6 2 1987. 6
- 関光準 韓国人の日本語の促音の知覚について
日本語教育 6 2 1987. 6
- 田原俊司、朴媛淑、韓国語単文理解における主題助詞の動作主性とその発達
- 伊藤武彦 日本語の助詞ハとガとの比較
教育心理学研究 35—3 1987. 9
- 渡辺吉鎔 特集・対照研究の諸側面 —— 韓日語文法対照研究の諸問題
日本語学 6—10 1987. 10
- 蔡京希 韓国漢字音の重層性 日本漢字音との比較研究を中心に
語文研究 6 4 1987. 12
- 1 <シンポジウム> 日本文化と東アジア
第1回シンポジウム（1985年）の部
〔第2回分科会言語・文字表現における地域性〕
日本文化研究所研究報告（東北大学） 1988. 3
- 2 <シンポジウム> 日本文化と東アジア
第2回シンポジウム（1986年）の部
〔第3分科会言語から見た東アジア〕
日本文化研究所研究報告（東北大学） 1988. 3
- 張正來 韓・日両言語における「助詞」の比較対照研究
格助詞「の」と「」の場合
中央大学国文 3 1 1988. 3
- 張正來 韓・日両言語における「助詞」の対照研究の試み
格助詞「から」を中心として
中央大学大学院研究年報 17—4 1988. 3
- 李成圭 受動文の意味的特徴 韓・日両言語の対照的考察
言語 17—9 1988. 9

- ライマン、
エツコ・オバタ <研究ノート>朝鮮の国字と日本の国字
朝鮮学報 1 2 9 1988. 10
- 安乗 忖 韓・日両語動詞の対照研究
漢語サ変動詞と「漢字語 + h a d a」動詞を中心に
広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 1 4 1988. 10
- 任尚 彬 二格の名詞の存在する文 日本語を韓国語と対比させて
研究会報告（日本語文法研究会） 1 0 1989. 3
- 張起福 「二格の名詞と動詞の組み合わせ」
日本語と韓国語の対照研究にむけて
東京外国語大学日本語学科年報 1 1 1989. 3
- 多和田真一郎 日本語と朝鮮語の対照 変格活用
静大国文 3 4 1989. 3
- 蔡京希 韓・日両国漢字音の対比研究 日本語教育のために
語文研究 6 6・6 7 1989. 6
- 許 卿 姪 特集・擬音語・擬態語 —— 韓・日両言語における
音象徴語の比較対照的研究
日本語研究 6 8 1989. 7
- 安乗 忖 日・韓両語の対照研究漢字語動詞の格支配を巡る諸問題について
広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 1 5 1989. 10
- 菅野裕臣 特集・日本語の特徴 諸言語からみた
<文法面からみた日本語Ⅱ 品詞・形態論>
—— アスペクト 朝鮮語と日本語
国文学解釈と鑑賞 5 5—1 1990. 1
- 志部昭平 特集・日本語の特徴 諸言語からみた
<タイポロジーと対照研究> —— 朝鮮語と日本語
その構造の類似性と差異性について
国文学解釈と鑑賞 5 5—1 1990. 1
- 古藤友子 現代漢字音の対照日本、朝鮮・韓国、中国における
姫路独協大学外国語学部紀要 3 1990. 1

- 深見兼孝 日本語の「ていく・ている」と韓国語の a / g a d a /
a / o d a
広島大学教育学部紀要 2—38 1990. 2
- 門脇誠一 日・朝語対照研究 「漢語+する」と「漢語+h a d a」について
北海道東海山車学紀要人文社会 2 1990. 3
- 林建彦 日本人、韓国人、中国人の表現構造比較
D. C. バーンランド教授の日 米比較をベースとして
行動科学研究 30 1990. 3
- 萩野剛男、金東峻、梅田博之 日本語と韓国語の聞き手に対する敬語用法比較対照
羅聖淑、盧順松 朝鮮学報 136 1990. 7
- 朴賢聖 日本語レル・ラレルの韓国語訳
徳島文理大学比較文化研究所年報 7 1990. 7
- 宋晩翼 日韓指示語の対照研究(2) 「コ・ソ・ア」と
「i・gü・tʃu」の非現場指示及び「語形」について
広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 16 1990. 10
- 金仁 炫 日韓両語における助詞の対照研究(3) 「を」と「w l」の
用法と機能を中心に
広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集 16 1990. 10
- 車美愛 韓国語の色彩表現 日本語との比較の視点から
名古屋大学言語学論集 6 1990. 10
- 梅田博之 特集・日本語教育のための対照研究
—— 朝鮮語と日本語の述語構造の枠組み
日本語教育 72 1990. 11
- 塚本秀樹 特集・日本語教育のための対照研究
—— 日朝対照研究と日本事情
日本語教育 72 1990. 11
- 李徳泳 特集・日本語教育のための対照研究
—— アスペクトにおける日韓両言語の対照研究
日本語教育 72 1990. 11

塚本秀樹	名詞による名詞修飾について 日本と朝鮮語の対照研究 愛媛大学法文学部論集文学科編 2 3	1990. 11
韓有錫	漢語動詞「— スル」と「— t o e d a」の日韓対照研究 名古屋大学国語国文学 6 7	1990. 12
中松竹雄	対照言語学序論 日本語・韓国語の後置詞の比較対照 琉球大学教育学部紀要 3 7—1・2	1990. 12
石井博	日本語と朝鮮語 オモテ（本家）とイモテ（分家） 人文社会科学研究（早稲田大学） 3 1	1991. 3
金沅基	日本語と韓国語のアスペクトについての一考案 中央大学大学院研究年報 文学研究科篇 2 0	1991. 3
崔泳徳	日・韓両国語の疑問表現の比較研究 古典語を中心として 中央大学大学院研究年報 文学研究科篇 2 0	1991. 3
李吉遠	韓・日両言語の受身構文 阪大日本語研究 3	1991. 3
関聖泓	韓・日の「衣」の文化背景から見た比喩表現の比較 表現研究（表現学会） 5 4	1991. 3
深見兼考	日本語と韓国語の受身 広島大学研究学部紀要 第 2 部 3 9	1991. 3
門脇誠一	再び朝鮮語・日本語と周辺の言語における名詞修飾構造について 主に南方語との関係を巡って 北海道東海大学紀要 人文社会科学系 3	1991. 3
萩野剛男、板田博之、金東俊、 羅聖淑、盧瑞松	日本語と韓国語の第三者に対する敬語用法の比較対照 朝鮮学報 1 4 1	1991. 10
李植淑	日・韓両国語における使役文の対照研究 日本学報（大阪大学） 1 1	1992. 3
李美淑	現代日本語のアスペクト「～しかける」の研究 韓国語との対照研究 横浜国大韓国語研究 1 0	1992. 3

- 油谷幸利 特集・外から見た日本 —— <朝鮮語から見た>
文末表現の語順 丁寧、否定、過去
言語（大修館書店）21—3 1992. 3
- 森下喜一、 日・韓のオノマトペの子音を比較して 全羅南道方言とも対比
池景來 作新学院大学紀要 文化と科学2 1992. 3
- 俞三善 日・韓両国語の擬音語・擬態語の比較研究
子音・母音の変換による語感の変化について
実戦国文学（実戦国文学会）42 1992. 9
- 金英美 日韓両国語におけるあいさつの比較 後傾性（過去言及）を中心に
東北大学文学部日本語学科論集2 1992. 9
- 韓有錫 併存する漢語動詞について 韓国語との対照考察
名古屋大学国語国文学70 1992. 9
- 李鍾徹著、 上代の日韓両国表記法の比較研究（6）～（9）
藤井茂利訳 推古遺文での「鳥」「都」「奴」「布」の表写について、
古代日本人名表写から見た「まろ」と「まり」について、
万葉集歌の連体格「つ」と郷歌の属格「叱」について、
万葉歌読解法を採用した郷歌句「白遺賜立」の読解
福岡大学人文論叢23・24—4・1～3 1992. 3. 7. 10. 12
- 李美淑 「してしまう」の意味 韓国語との対照研究
対照言語学研究（大東文化大学）2 1992. 12
- 洪涯杓 日本人と韓国人の丁寧意識の比較
計量国語学（計量国語学会）18—7 1992. 12

○辞典・用語集

- 民素雲編 『精解日韓辞典』
高麗出版 1974. 2
- 京都大学国語国文学研究所編 『改修捷解新語 本文・国語索引・改題』
安田章題 京都大学国文学会 1987. 8

追補

○論文集

- 杉戸清樹 野村正良先生受賞記念言語学論集
『原刊本「捷解新語」エ段音節母音部への受注について』
野村正良先生受賞記念刊行改編 1989. 5
- 藤井茂利 薩摩美山に伝わった朝鮮語資料の一性格
『韓国訓蒙』の表記法をめぐって
『奥村三雄教授退官記念国語学論叢』
奥村三雄教授退官記念論集刊行会編 1989. 6

○書評・紹介

- 藤本幸夫 浜田敦著「朝鮮語資料による日本語研究」
朝鮮学報 5 6 1970. 7
- 梅田博之 「河野六郎著作集 1 朝鮮語学論文集」
言語 9—1 1980. 1
- 松岡洸司 韓国語から見た日本語 柳尚熙著「江戸時代と明治時代の
日本における朝鮮語の研究」
ソフィア 2 9—4 1981. 1